



進路研究の「個別学習」と「協働学習」の往還と自己調整をサポート 生徒が自己を動機づける、大学教授との「希望に溢れた物語」を紡ぐ学問研究

中教審答申「令和の日本型教育の構築を目指して」では、多様な生徒を誰一人取り残さずことなく育成する「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実させ、生徒自身が自己調整しながら学習を進めていくことの重要性が指摘されています。新学習指導要領でも「主体的に学習に取り組む態度」を評価する方法の一つとして「自らの学習を調整しようとする側面」が示されました。生徒が進路選択に向けた学習過程を能動的に進めていく力を育むために、個々の文脈に合わせた学問研究、大学・学部・学科の検討ができる環境を提供します。

個別学習 場面サポート

- 夢ナビプログラム P16
- 夢ナビ講義動画サービス P42
- 志望理由探究プラン P22

個に応じた学習

個々の生徒の興味・関心などに応じた異なる目標に向けて、学習を深め広げることができる。

リサーチ活動

インターネットやデジタル教材を用いて、効率のよい調査活動と興味・関心を起点とした情報収集を行うことにより、情報を主体的に収集・判断する力を身につけることが可能になる。

夢ナビプログラム 興味・関心やSDGsを起点として 自分の世界を広げる。



個別学習 サポート

インタレストドリブンを
醸成する

協働学習 場面サポート

- 夢ナビ講義動画サービス 校内シェア機能 P40
- 夢ナビライブ 夢ナビ講義 研究室訪問 P34

協働での意見整理

情報端末を用いて、互いの考えを視覚的に共有することにより、グループ内の議論を深め、学習課題に対する意見整理を円滑に進めることができる。

学校の壁を越えた学習

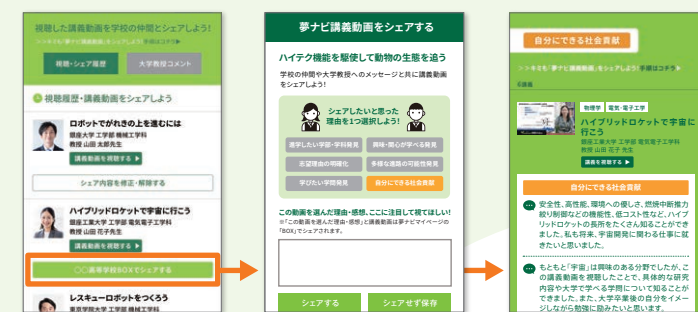
テレビ会議などにより学校外の専門家と交流して、通常では体験できない専門的な内容を聞くことにより、(進路)学習内容への関心を高めることが可能になる。

夢ナビライブ 夢ナビ講義 研究室訪問 参加前の動画視聴



夢ナビ講義動画サービス「校内シェア機能」 能動と受動を行き来する学問研究。自他の個性の理解と尊重。

- 校内シェア機能で、各自の進路研究における「重要な瞬間」である「夢ナビ講義動画」とコメントをグループ内で視覚的に共有する。
- グループ内で発表・意見交換することで多角的な見方・考え方に触れ、他者理解・多様性理解を深める。



協働学習 サポート

共通の関心やアイデンティティを持つ
集団内で相互に学び合う

夢ナビライブ 夢ナビ講義 研究室訪問

自分の興味を発端として他者や社会と関わるポジティブな学びの機会。

- 大学教授と直接Zoomでつながり、通常では体験できない専門的な内容を聞いたり、質問することにより、学問への関心を高めることができる。
- 他の生徒の質問内容やその回答内容により刺激を受けると同時に、多角的な見方、考え方に触れることができる。



他者の進路研究における 「重要な瞬間」の追体験



個別学習の自己調整をサポート

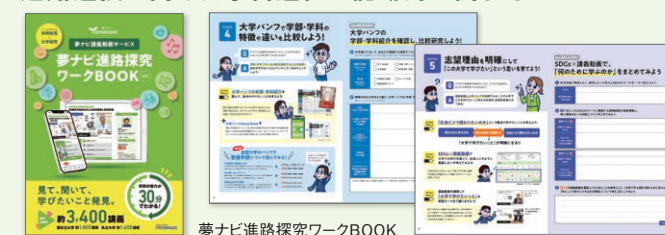
学習過程に 能動的に関わる

学びの自己調整ができる環境を提供し、進路選択に向けた学習過程に能動的に関与することをサポート

- 学ぶ内容や進捗面に関する学びの自己調整
- 興味・関心など生徒個々の文脈に合わせた学びの自己調整
- 他者の学び、価値観、着眼点の理解による学びの自己調整

夢ナビ進路探究ワークBOOKで「どのような目的で何をどう学ぶか」を自分で決める自己調整力を育む

進路選択に向けた学習過程に能動的に関わる



生徒の課題

受動的な姿勢や思考ではなく、学びの方法や目標を自ら決めて、試行錯誤していく進路学習の場面・機会が少ない。

解決

夢ナビ進路探究ワークBOOKで、自分自身で学習目標を立て、進路に関する学習過程に能動的に関与することで、より深い理解や主体性が育つことも期待できる。

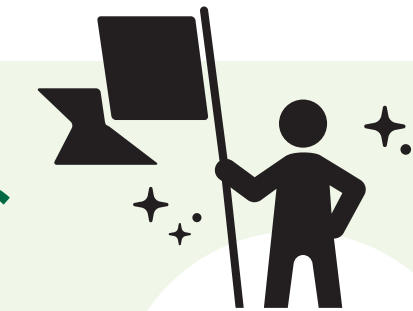
2 興味・関心など生徒個々の文脈に合わせた 行動・試行錯誤

個々の文脈での 講義動画視聴・試行錯誤

3 自己変容を自覚する 振り返り

なぜ学びたいか なぜその大学なのかを 問うワーク

生徒個々の文脈に合わせた自己調整



**進路選択の
エキスパート**

自分で考え、行動し、
自らの意志と責任で
選択・決定する